国立大学図書館協会賞 受賞者選考委員会報告

1. 第1回委員会（平成15年6月25日 大宮ソニックシティ）
 - 1) 委員長に大西東北大学附属図書館長を選出した。
 - 2) 平成16年度協議会賞の募集通知を、会長名で会員館宛に送付することとした。
 - 3) 各地区連絡館と常務理事館からなる調査小委員会を設置し、同委員会委員の任期を総会翌日から平成16年3月31日までとした。
 - 4) 審査専門委員会委員の委嘱を委員長及び会長に一任した。
 - 5) 選考委員会規程の見直しに関する意見があり、今年度は名称の変更のみを行い、選考基準及び選考手続きは現行のもので実施することとした。

2. 第2回委員会（平成15年10月30日 名古屋大学工学部大会議室）
 - 1) 平成16年度応募状況について、平成15年10月30日現在で応募は1件であるが、募集期限の10月末日までに応募が来る可能性はあるとの説明があった。
 - 2) 調査小委員会としての推薦は1件であるが、期限の10月末日までに推薦が来る可能性はあるとの説明があった。
 - 3) 審査専門委員会の設置について、前回委員会において委員長及び会長に一任されているので、応募大学を勘案のうえ委員を構成すること、及び委員の任期は委嘱後から平成16年3月31日までとすることが了承された。
 - 4) 平成16年度協会賞の受賞者選考は、現行の国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会規程及び国立大学図書館協議会賞選考基準を適用し、「協議会」を「協会」に、「協議会賞」を「協会賞」に、それぞれ読み替えるとともに、平成16年5月の選考委員会の委員は、平成16年4月1日時点で在任する委員がつとめることとした。

3. 第3回委員会（平成16年5月21日 東京大学附属図書館）
 - 1) 平成15年10月末日までに応募1件及び推薦1件の計2件があり、審査専門委員会委員を平成15年12月2日付けで新潟大学、富山大学及び金沢大学に委嘱し、審査を依頼したとの説明があった。
 - 2) 審査専門委員会主査の金沢大学から、平成16年3月12日付けで審査結果として、応募による受賞候補は選定されなかったこと及び推薦による受賞候補「九州大学附属図書館ラテン語古刊本書誌作成研修会の活動(九州大学附属図書館ラテン語古刊本書誌作成研修会)」は選定されたことの報告があった。
 - 3) 平成16年度協会賞受賞候補作品の選考について、審議の結果、本委員会は審査専門委員会からの報告のとおり、受賞候補作品は推薦による受賞候補作品を理事会に報告することとした。